



清流くん

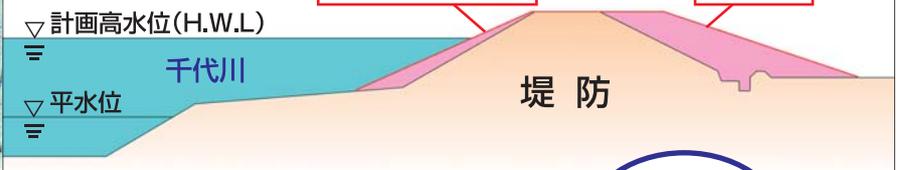
千代川の堤防工事を進めています。

千代川右岸稲常地区の堤防は断面が不足しており、また過去には堤防裏側の法面から漏水報告もあったことから、早急に対策を行う必要があるため、堤防及び護岸工事を行っています。この工事により、堤防に必要な断面の確保と安定化をはかり、戦後最大相当（S54年洪水規模）の出水による浸水被害を解消します。工事に対するご協力をお願いします。



平成23年度千代川稲常堤防外工事

工事完了予定：平成23年3月31日
工事場所：鳥取市河原町稲常地先



水質事故にご注意下さい

千代川水系においてこれからの季節、油や化学薬品等の流出による水質事故が多発します。これに対し、国・県・市・町・警察・消防の関係各機関が連携して油の流出事故を想定し、迅速かつ的確に油の回収を行えるよう水質事故対策訓練を毎年実施しています。工場や工事現場だけでなく、家庭からの灯油の流出であっても大きな事故につながる場合があります。水質事故が発生すると、オイルフェンスの設置や油の回収などの作業が必要となり、費用もかかってしまいます。前年の残灯油、廃油などは排水溝などに流さないようお願いします。

●川に多量の油や魚が死んでいたらご連絡下さい。

千代川水系水質汚濁防止協議会事務局

国土交通省鳥取河川国道事務所 占用調整課



▲水質事故対策訓練の様子

TEL.0857-22-8435

千代川沿川地区における 水害意識に関するアンケート

調査結果 報告

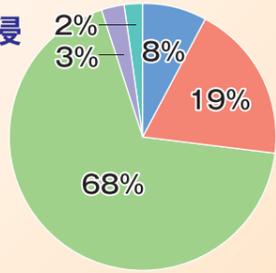
千代川流域にお住まいの方々の水害意識を把握するため、今年の8月から約1ヶ月間にわたってアンケート調査を実施しました。数多くの回答をいただき、ご協力いただきました皆様ありがとうございました。この調査結果を基に、現状と課題を整理し、今後の防災対策に役立てていきます。



水害に関する知識や備えについて

1 自宅や自宅周辺が浸水したことはありませんか？

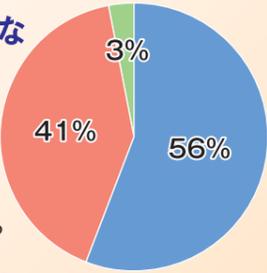
- 自宅が浸水したことがある
- 自宅が浸水したことはないが、自宅周辺が浸水したことがある
- 自宅や自宅周辺が浸水したことはない
- その他
- 不明



★浸水経験のない人が約7割であった。

2 昨年は兵庫県佐用町などで大きな水害が発生しましたが、水害について関心がありますか？

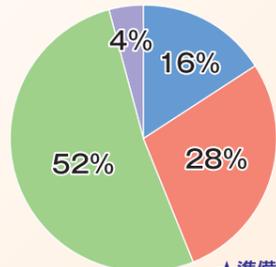
- とても関心がある
- 少し関心がある
- 関心がない



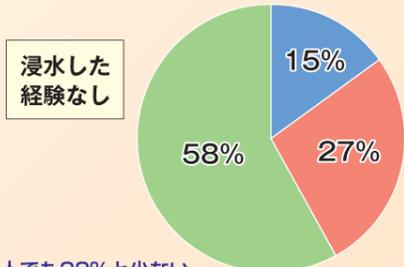
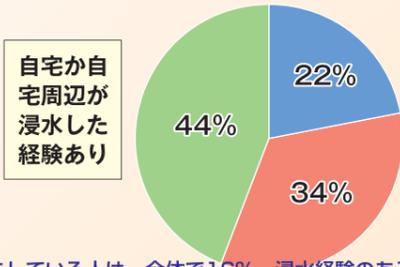
★記憶が新しいせい、ほとんどの人が水害に関心がある。

3 災害に備えて、非常用持ち出し品(非常用保存食、水、ラジオなど)を準備していますか？

- 準備している
- 今は準備していない
- 準備していない
- その他



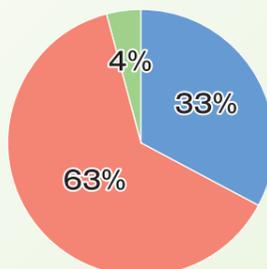
★準備をしている人は、全体で16%、浸水経験のある人でも22%と少ない。



地域の防災情報について

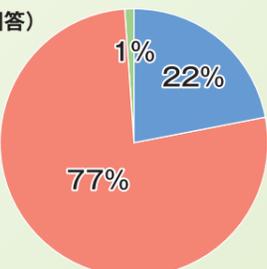
1 国土交通省や鳥取県がインターネットや携帯サイトで、雨量や水位などの防災情報を提供しているのを知っていますか？

- 知っている
- 知らない
- 不明



防災情報を利用したことはありますか？
(知っていると考えられた方の回答)

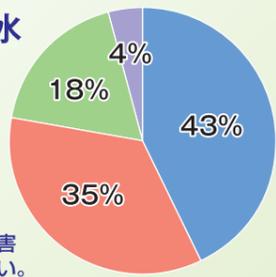
- 利用したことがある
- 利用したことはない
- 不明



★情報提供を知る人が約3割、そのうち利用したことのある人が約2割、結果実際の利用率は1割未満と少ない。

2 市や町が指定した水害時の避難場所を知っていますか？

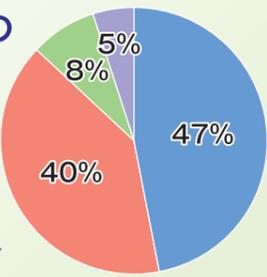
- 知っている
- 避難場所は知っているが、水害時の避難場所がわからない
- 知らない
- 不明



★指定の避難場所を知っていても、水害時の避難場所がわからない人が多い。

3 住んでいる市や町の洪水ハザードマップ(洪水避難地図)を持っていますか？

- 持っている
- 持っていない
- 見たことも聞いたこともない
- 不明

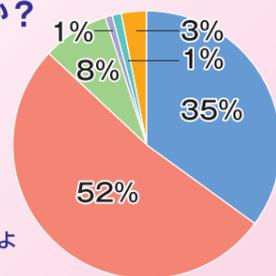


★ハザードマップはここ2年で配布されているが、所有率は5割に満たない。

避難行動について

1 風雨が強まり川が増水しています。外では広報車が避難を呼び掛けています。あなたはどのようにしますか？

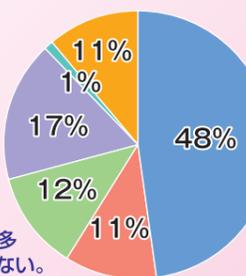
- 直ちに避難する
- 直ちに避難しないが、避難の準備は始める
- 避難の準備はしないが、情報を集める
- 何もしない
- その他
- 不明



★9割近くの人が広報車の呼びかけにより、避難の意識が働く。

2 避難を決心する場合の決め手は何ですか？

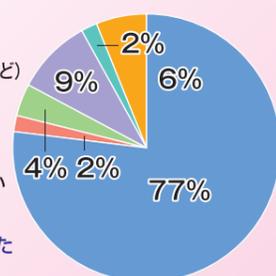
- 広報車や防災行政無線からの避難の呼びかけ
- テレビやラジオからの避難の呼びかけ
- 近所の人が避難を始めたとき
- 消防団や近所の人からの避難の誘い
- その他
- 不明



★「広報車や防災行政無線」が約5割と多く、「テレビやラジオ」は約1割と少ない。

3 近くの川があふれそうになり、避難しなくてはなりません。あなたはどこに避難しますか？

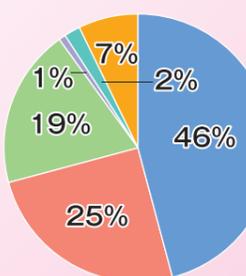
- 市や町が指定した避難場所(公民館・学校など)
- 最寄りの役場や病院など
- 高台にある近くの知人や親戚の家
- 自宅の上階、または自宅がマンションの高層階であるため外へは避難しない
- その他
- 不明



★「市や町が指定した避難場所」と答えた人が全体の77%であった。

4 あなたが避難している途中に、近所のお年寄りが気になりました。どうしますか？

- 一緒に避難する
- 避難するよう声だけはかける
- 消防団などに連絡する
- 特に何もしない
- その他
- 不明



★お年寄りに対する支援の意識が高い。

意見(自由記述)

【情報】

- 危険な場所などを予め住民に知らせておいて欲しい。
- 地域では「うわさ」が先行する場合がありますので、正確な情報を正しく住民に伝える事の徹底をお願いしたい。

【避難】

- 避難場所は自宅から距離があって避難できるかどうか心配。
- 無理な移動より、自宅の二階や近所の高層アパート利用など実情に則した避難方法を教えて欲しい。
- 近くの避難所は地盤が低く、水害時には使えないと思う。
- 避難システム(自主避難・避難勧告など)を知らないのでも教えて欲しい。

【普段の備え】

- 救助、避難に関する実地訓練を実施して欲しい。
- 地域の問題点を明確にし、その解決のために住民が一体となって取り組むような体制づくりが必要。
- ハザードマップの配布は防災意識を高めるためにも有効。配布後のフォローも必要。
- このアンケートを記入している間に、自分が防災の知識を何も知らないことがわかった。

【要援護者】

- 老人、子供等への対応をどうすべきか、より具体的に検討すべき。
- 広報車で呼びかけはもちろんだが、1人暮らしの老人宅には責任をもって伝える人が必要だと思う。

調査結果【まとめと今後の課題】

- 水害に対して関心があると答えた方が97%と千代川流域住民の水害に対する関心は高いですが、非常用持出品を準備している方は16%、「ハザードマップを持っている人」は47%と、普段からの備えについては十分とは言えない点が見られました。
- 避難に関しては、「広報車が避難を呼びかけた」場合、直ちに避難する人が35%、避難の準備を始める人が52%という結果であり、「避難の決め手」としては、「広報車や防災行政無線からの呼びかけ」が48%と広報車や防災行政無線からの情報が重要という結果でした。しかし、避難場所までの移動距離や移動中の安全性について不安を抱えているという意見もいただきました。
- その他、援護が必要な方の支援について関心が高く、地域での協力体制の強化を望む声が多かったこと、また、千代川が氾濫した場合の実際の水の流れや危険箇所など、詳細な情報提供を望む声も多数聞かれました。

▶きれいな川を守るイベントが各地で開催されました!!◀

生きものがたくさん住める川を目指して

みんなで守ろう きれいな水



西郷の川をよ〜く見よう!!

11月6日(日)、鳥取市河原町を流れる曳田川で地元のいなば西郷むらづくり協議会により、“西郷の川をよ〜く見よう”と題して、川の観察会が行われました。これは「西郷の川が汚れてきた、生きものがたくさん住める川にしたい。」という地域の人々の声が多く寄せられたのをきっかけに、今の川の状態を体験してもらい、どうすればきれいな川になるかを考えてもらおうと、開催されたもの。川の観察や水質調査を通して意見交換会も行われ、河川環境を考える貴重な一日となりました。



八東川フォーラム

11月28日(日)、NPO法人八東川清流クラブ主催の「八東川フォーラム」が、八東体育文化センターで開催されました。これは、きれいな水の八東川をみんなで守ろうという目標のもと、今回初めて開催されたものです。フォーラムでは、葦(ヨシ)研究の第一人者である西川嘉廣氏が、葦の水浄化機能や八東川に自生する葦の活用策について講演。また川との関わりあいや、川をどう守るかなどに焦点をあてた、フリートークやパネル展示が行われました。



八東川・徳丸ドンド



千代川の歴史探訪

その②「嵐ヶ鼻土手(安長土手)」

鳥取市安長周辺の耕地・集落は、古来、千代川と野坂川の洪水に苦しめられていました。その洪水を防ぐため、安長の南側に築かれたのが「嵐ヶ鼻土手(安長土手)」です。この土手は、寛文10年(1670年)に鳥取藩が作成した絵図(寛文の大図)にもその全景が描かれています。洪水を防ぐ手段として最も古い形式である輪中堤で、約1500mが築されましたが、現在は東西部分約700mが形を残しています。土手の樹林は、堤防強化のため植えられたものが長年のうちに常緑樹と落葉樹が混在する現在の形になったもので、平地において極めて希少な存在です。土手には「秋葉神社」や「勘右衛門地蔵」もまつられ、地元の方も散策されており、訪れていただくと、その長い歴史を静かに語りかけてくれます。



現在の嵐ヶ鼻土手

みんなも一度、訪ねてみてネ!!



千代川の河川内樹木の伐採にご応募ありがとうございました!!

9月13日から公募しました千代川の河川内樹木伐採について、10月29日をもって応募受付を終了しました。伐採は2箇所37区画を用意しており、16組の個人・団体の方々から応募をいただきました。応募いただいた方には、平成22年11月15日(月)～12月17日(金)の間に伐採をしていただきます。ご協力をいただくことで、より効率的な河川管理が図られます。応募していただき、誠にありがとうございました。

■発行・編集 / 〒680-0803 鳥取市田園町4丁目400番地

千代川流域圏会議事務局 国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 河川管理課 TEL0857-22-8435 FAX0857-29-1859

今までの千代川newsは、ホームページでご覧いただけます。 <http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/river/conference/>